

日本気管食道科学会より

『気管食道シャント造設術を受けた喉頭摘出患者の全国実態調査』について

### ➤ 研究（調査）の目的と概略

気管食道シャント造設術に関して全国的調査を行い、実施率や管理上の問題点など長期経過を含めた実態把握を行い、喉頭摘出患者のQOL（生活の質）改善を目指します。

### ➤ 研究（調査）の方法

本邦における各施設の2014年4月1日～2024年3月31日における気管食道シャント造設術（TEP）が施行された症例。シャントバルブ交換のみ行っている施設の場合は、アンケート実施時点で外来通院を継続中の症例。対象施設にアンケート方式で実態調査を行い、中央集計したのち解析を行います。

### ➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定専門医研修施設

### ➤ 調査期間

理事長承認日～ 2年間

### ➤ 調査の対象となる患者さんへ

本研究は個人情報を除いたカルテデータを用いた臨床研究であり、新たな負担や不利益は一切ありません。

### ➤ この調査への協力は任意です。

本研究にご自身のカルテデータを用いられることを希望されない患者さんは主治医にその旨をお伝えください。

### ➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。  
研究責任者：高野 賢一（札幌医科大学 耳鼻咽喉科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F  
E-mail : [jbes@kishoku.jp](mailto:jbes@kishoku.jp)